



令和2年11月12日

渋谷区立松濤中学校

学校だより

世界へ松濤中生 Grow(自立) Respect(尊重) Create(創造)

「言葉の大切さ」

校長 小幡 政明

しきしまの^{やまと}大和の国は ^{ことだま}言霊の

^{たす}助くる国ぞ ^{さき}ま幸くありこそ

^{かきのものひとまる}柿本人麻呂

〈やまとの国（日本）は言葉の霊力が物事をよい方向へ動かしてくれる国です、どうか無事に行ってきてください〉これは、万葉集に掲載されている和歌です。柿本人麻呂が航海に出る友人へ向けて詠んだ歌だといわれています。

口に出した「言」は現実の「事」になって助けてくれるという言霊信仰が表れた和歌だと言えます。この考え方は、万葉集が作られた1300年前から続いています。現代に生きる我々には、このような考え方は、科学的な根拠のない迷信だと思えてしまいます。しかし、最近の脳科学では、同様の説が唱えられています。具体的に説明すると、

「言葉」として発すると、脳はその言葉が実現するように働きだします。脳は人間の行動をつかさどっていますから、「言葉」が実現するような行動をとるようになるというものです。わかりやすく言えば、「できる。」と前向きな発言をすると、脳が「できる。」ように動き出し、その人の行動も「できる。」ように変わっていくというのです。反対に、「できない。」という、脳は活動を停止し

てしまうそうです。実際にこのように考えると言霊信仰はあながち迷信とは言い切れないようです。

このような見方から考えて、皆さんは、言葉を発するときどのようにするべきでしょうか。前向きな言葉を発することで、自分の行動がどんどん前向きになっていくのならこんなに良いことはありませんね。

また、言葉は誰かに向けて発せられることがほとんどです。その言葉は、自分だけではなく、言葉を向けられた相手にも大きな影響を与えることは経験からも実感できるでしょう。誰かに向けられた言葉で、自分の心が温かくなった経験のある人も多いかと思います。言葉は、相手にも自分自身にも大きな影響を与えます。そのことを常に考えて、自分の発する言葉に責任をもちましょう。一度発した言葉は、取り消すことができません。

一斉登校が開始されてから、4か月が経ちました。学習発表会や運動会が実施されて、友達との関係が緊密になってきました。そんな今だからこそ、言葉について考えてほしいと思います。

保護者の皆様へ

学習発表会、運動会と人数を限定させていただいて参観していただきました。ご協力感謝いたします。与えられた状況の中でできるかぎり、生徒に有意義な体験をさせていきたいと存じます。ご協力よろしく申し上げます。

2020 Shoto Sports Day

10月24日(土) **Shoto Sports Day** (運動会)を開催することができました。例年は、5月の終わりから6月の初めの時期に実施しますが、コロナ禍の影響で秋の開催に変更しました。前日は予想外の大雨で、グランドコンディションが心配されましたが、素晴らしい天気の下で無事に開催することができました。平成9年から共催している大向地区体育会運動会は、今年度中止となったので、学校だけの競技となりました。



校門の装飾



今年のスローガン

できる限りの感染予防策を講じての開催です。生徒席は間隔を開けて配置しました。このためグランドいっぱい広がってしまい。保護者席はグランド外の通路の部分のみとさせていただきました。さらに、学年ごと入れ替えの参観とさせていただきました。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。



待機場所は配信で観覧

競技種目を厳選し、各学年100m走と全員リレーだけです。3年生は、創作ダンスを披露させていただきました。最後は、1、2、3年とバトンをつなぐ、選抜選手リレーです。午前中ですべての競技が終了するプログラムとしました。

短縮した形での開催でしたが、生徒の動きは素晴らしく、開会式から閉会式まで、競技も応援も熱のこもったものとなりました。準備体操のラジオ体操では、全生徒が指先までピンと伸ばして演技しているところは、感動的でした。



赤・白・青



100m走

今年度は、初めて1年から3年まで3クラスとなった運動会です。赤(A組)・白(B組)・青(C組)の3チームによる対抗戦です。その分応援にも熱が入ったことと思います。しかし、感染症対策のため、大声を出しての応援はできません。拍手での応援です。皆、そのルールを守って秩序正しい応援ができました。また、恒例となっている **Shoto Cheer Battle** (応援合戦)は、中止としましたが、3年生全員による創作ダンスは、**Shoto Cheer Battle** (応援合戦)を来年度へと継承していく役割をしっかりと果たしました。吹奏楽部の生演奏によるダンスは大変見応えがありました。



3年創作ダンス



吹奏楽部生演奏

結果は、以下の通りです。

総合優勝 青チーム(1~3年C組)

3学年優勝 C組(青チーム)

2学年優勝 A組(赤チーム)

1学年優勝 C組(青チーム)